

福南だより

校訓『勤勉 友愛 感謝』

第 8 号
令和6年12月1日発行
堺市立福泉南中学校
校長 中島 寛

「光陰矢の如し」

～時間を大切に使い、充実した人生を送ろう～

あっという間に12月になりました。ついこの間、始業式を行ったばかりだったのにというのが正直な気持ちです。好きなことに夢中になっている人も、だらだら過ごす人も、目標を持って努力する人も、みんな1日は24時間で平等に与えられています。誰もが毎年1つ年齢を重ね、人生の針を少しずつ前へ進めていくのです。

「人生」において時間を語るときに、わたくしは「**人生3分の1説**」という話を思い出します。これは人生を1日としたとき、年齢を3で割るとその人の人生の現在時刻がわかるというものです。例えば45歳の人であれば3で割ると15となるので、自分の現在時刻が15時(午後3時)ということになります。

中学3年生の年齢に当たる15歳ならば、 $15 \div 3 = 5$ なので午前5時ということです。まだ夜明け前あたりの時間帯で、つまり人生はまだまだこれからですという意味になります。夜明け前の皆さんにしてみれば、まだ1日は始まらないと思えるかもしれませんが、50歳以上の年齢で、もう夕方($50 \div 3 \approx 17$ 時)を迎えた身から言わせてもらうと、時間の経過はまさに「光陰矢の如し」で、本当に1日1日を大切にしてほしいと思うばかりです。わたくし自身、まだまだやりたいことがたくさんありますので、これからも時間を大切に使って充実した人生にしたいと思っています。

そして「若さ」についても少しお話ししたいと思います。詩人のサミュエル・ウルマンが70代で書いた「**青春の詩**」には、「豊かな想像力、たくましい意志、燃える情熱、臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というんだ。」という一節があります。「年齢を重ねただけでは老いるのではない、理想を失うときに初めて老いるのである。歳月は皮膚にしわを増すが、情熱を失えば心はしぼむ。」これらの言葉は、ときには20歳の青年よりも60歳の人に青春の情熱があふれているのだということを意味しています。生徒の皆さんには、引き続き夢や情熱を持ち続けて常に前を向き、1日1日を大事にしながら創造、情熱、冒険心、勇氣を失わないで、自分らしさを出しながら人生を充実させていってほしいと願っています。

12月の主な行事

- | | |
|--------|---|
| 2日(月) | 全校集会、専門委員会 |
| 3日(火) | 1年スマホ安全教室(4限) |
| 6日(金) | 小6部活動体験(14:15～)、(8:35～1限) |
| 8日(日) | 福泉中央自治会「ふくふくまつり」(於:福泉中央小)
野球部選抜交流大会(予備日 運動場使用) |
| 10日(火) | 1年「いのちの授業」(3・4限) |
| 17日(月) | 保護者懇談会(～23日 8:35～ 50×4) |
| 24日(火) | 終業式 |

☆多明鏡止水☆

先月の続きのような話になりますが、前回のあとがき以降、自分の興味の趣くまに本を何冊か読みました。ほとんどの本が分厚いものではなく、気軽に読めるページ数の本でしたが、その中で2冊印象に残った本がありました。1冊はSF作家のフィリップ・K・ディックが書いた「逆まわりの世界」です。この作家は、学生時代に倫理の授業で課題として出されたのをきっかけに知った人物で、彼の作品には人の生死にかかわる内容のものが多く見られます。

今回の作品は、まさに逆まわりの世界で、誕生と死去の位置が逆転しています。人の誕生がお墓の中の死体の状態からスタートし、年齢が若くなっていくことが死に向かうということで、最終的に母の子宮に帰ると死になるという非常に奇怪な作品です。登場人物が多く、逆回転の世界の話ですので頭が混乱しますが、生きている人間が人の生き死に直接関与していく表現には、人間の倫理観と生命の大切さについて真剣に考えさせられる作品でした。

また、もう1冊の本は脳科学の本で、東京大学の池谷裕二教授が著した「脳には妙なクセがある」です。今まで自分が当たり前だと思っていたこと、例えば勉強や仕事では「集中することが大切」と思っていたのが、実は狩猟民族の末裔である私たちは、脳科学的見地でいえば様々な危険を回避するため、集中ではなくむしろ注意する意識を分散させてリスクを回避する思考回路が備わっており、真のベテランは集中することなく目的を達成できるという内容を、アメリカの学者がチベットで修行する高僧の、瞑想時の脳波から発見したお話などが紹介されていました。この2冊以外にも紹介したい本があるのですが、書ききれないのでまた機会がありました紹介させていただきます。では、今年最後の月も充実したものにできるよう残り1ヵ月、気持ちを引き締めて過ごしていきましょう。